

使用上の注意

- 桑園付近での使用にはご注意ください。また、本材は甲殻類(エビ、カニ等)および冷水魚(サケ、マス等)には特に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚池の周辺での使用はさせていただきます。

I. 使用前に際しての注意

1. 使用前に必ずラベルをよく読み、十分理解した上で使用して下さい。
2. 定められた効果または効果に従い、用法及び用量を厳守して使用して下さい。間違えた使い方をすると、効力不足や健康を害することがあります。
3. 環境を汚染しないために乱用は避けて下さい。また、養殖池、井戸、地下水などを汚染するおそれのある場所(蜜蜂、蚕(繭)、水棲生物等に被害を及ぼすおそれのある場所)では使用しないで下さい。なお、広範囲に散布する場合には、市町村や関連機関との連絡をとり事故の発生防止に努めて下さい。
4. 薬剤の容器は専用のものとし他と兼用はしないで下さい。
5. 使用に際しては、必要量だけを分取して調製し、その都度使い切ってください。
6. 本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないで下さい。
7. 病人、特異体質者、妊婦、乳幼児等は、薬剤の影響の無い場所に移動させて下さい。薬剤によって、アレルギー症状やカブレ等を起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には従事しないで下さい。
8. 食品、食器、飼料、おもちや、寝具、衣類、愛玩動物、觀賞魚、雑物、貴重品、美術品、楽器、電気製品等はおろかしめ他へ移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにして下さい。

II. 使用中または使用後の注意

1. 塗装面やプラスチック、石材、漆喰、白木等に薬剤が付着した場合は変色・変形する場合があり、覆い等の処置をして薬剤がかからぬようにして下さい。
2. 保護員(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)および使用する機械器具は、あらかじめよく

- く点検整備しておいて下さい。使用に際しては、保護員は必ず着用し、身体の露出部分を少なくして薬剤を浴びないようにして下さい。なお、屋内での使用後は必ず換気を行って下さい。
3. 薬剤の調製、散布中は喫煙、飲食をしないで下さい。使用中または使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行って下さい。
 4. 使用後は必ず、また薬剤が皮膚に付いたときは直ちに石けんと水でよく洗って下さい。万一、薬剤が目、口などに入った場合には直ちに水でよく洗い流して下さい。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えて下さい。また、必要に応じて、医師の診療を受けて下さい。
 5. 万一、誤って薬剤を飲込んだ場合や、薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、眩めまい、吐気、気分が悪くなった場合には、直ちに使用を中止し、清浄な空気の場所で安静にして、医師の診療を受けて下さい。医師の診療を受ける際には、薬剤が合成ピレスロイド剤であることを告げて下さい。
 6. 作業時の衣服は他の衣服と区別して洗い、保護員も洗剤を使ってよく洗って下さい。希釈や薬剤処理に用いた機械器具類もよく洗って下さい。
 7. 使用済みの空容器等は、石けん水でよく洗い、小児が触れないようにするとともに、他に転用しないで下さい。汚染した器物や洗浄液は、作業現場から持ち帰り、処分当たっては、自治体の条例や指導に従って処分して下さい。決して、河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染するおそれのある場所には、捨てないで下さい。

III. 保管上の注意

1. 使用後に残った薬剤原液は、ラベル表示のある元の容器に密封し、他のものと区別して保管して下さい。
 2. 保管場所は、小児の手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にして下さい。
- ### IV. その他の注意事項
1. 購入した薬剤は速やかにお使いになって下さい。
 2. 火災事故の場合には次のように処置して下さい。

- ① 薬剤が燃焼すると有害なガスが発生するおそれがあるので、人を避難させて下さい。

〈不快害虫駆除剤〉

ハイカプミン[®] 粒剤

ユスリカ幼虫・アリ・ダンゴムシ・ワラジムシ等
不快害虫に効果。



三井化学アグロ株式会社



三井化学アグロ株式会社

東京都港区東新橋1-5-2 汐留センター
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>

不快害虫駆除剤

ユスリカ幼虫対策の新兵器！

ハイカプシン® 粒剤

有効成分 ピレスロイド様新殺虫剤

特長 少量で不快害虫に効果があります。特にユスリカ幼虫に対して速効的効果があります。

使用方法

適用不快害虫	適用場所	散布方法	使用量
ユスリカ幼虫	水溜、側溝、下水溝、汚れた小河川等	均一散布	5～10g/m ³
アリ、ダンゴムシ、ワラジムシ等	公園、宅地、駐車場、道路等	均一散布	10～20g/m ²

※ユスリカ幼虫に対して、水の流れが比較的早いところでは、12～20g/m³散布して下さい。

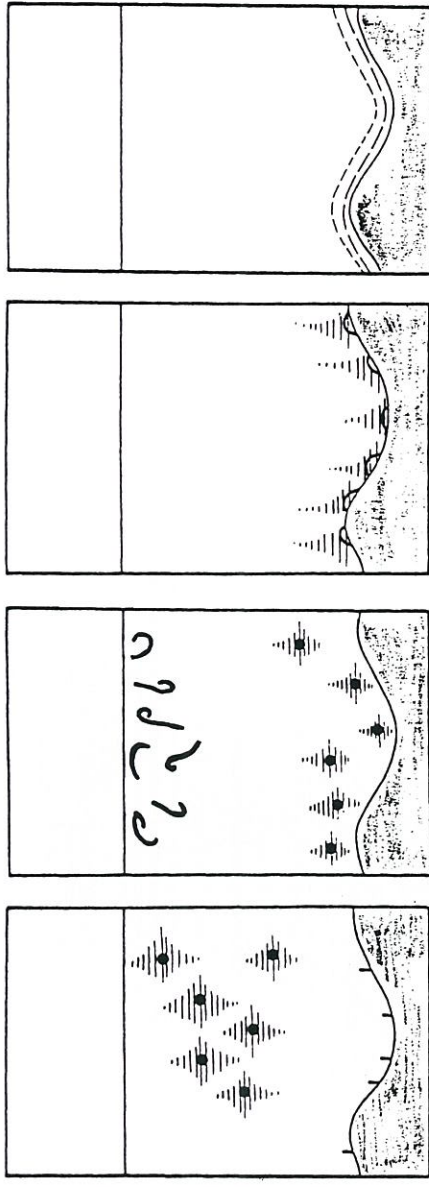
ユスリカ幼虫対策のQ&A

●ハイカプシン粒剤は、何故ユスリカ幼虫駆除に適するのか？

ポイント① 微量ですばやく効果を発揮→散布してすぐに駆除できるので使用満足感が得られます。
 ポイント② 確実に駆除できる→水中下で有効成分が放出され、ユスリカ幼虫に接触して効果を発揮します。

ポイント③ 魚毒性が低い→小川などに生息する魚介類に影響がありません。
 ポイント④ 環境汚染が少ない→有効成分は、水中下で約1カ月かかり、光及び微生物により分解されます。

●ハイカプシン粒剤は水中で、どのように効力を発揮するのか？



水中に散布すると、有効成分の20～30%が、すみやかに放出します。

散布直後より、水中の泥の中に生息しているユスリカ幼虫が弱まって水面に浮上し、流出が急速に始まります。1時間以内で、駆除できます。

放出された有効成分は泥などの推積物に吸着され、そこから徐々に放出することによって効力を持続します。

●ハイカプシン粒剤の毒性は？

人畜及び水棲生物に対して、低毒性の薬剤であります。

原体の急性経口毒性(LD₅₀値)

マウス >100,000mg/kg ラット >40,000mg/kg
 原体の魚毒性(TLm値)

コイ稚魚 5ppm、タマミジンコ 210ppm

●ユスリカ幼虫に対する効力試験 (下水処理場での実地試験)

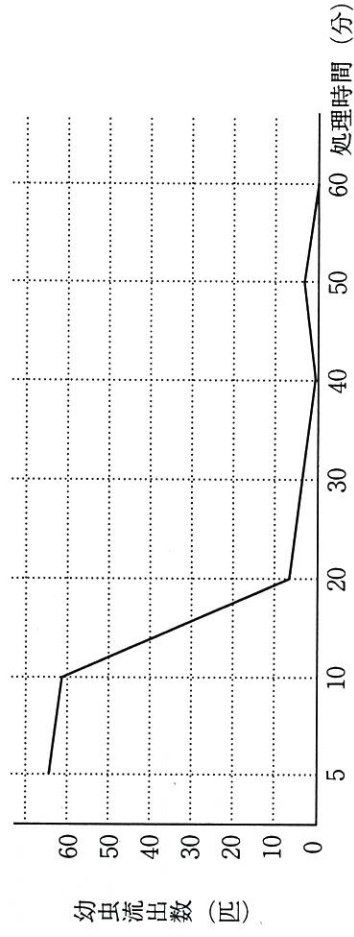
(処理水量) 1時間当たり平均500トン ※水の流れは早い。

(対照害虫) セスジユスリカ幼虫

(供試剤の処理条件) 有効成分濃度0.3ppm/1時間数量1トン

(粒剤10kgを一度に処理した。)

(試験結果)



※流水の表面を流れる幼虫を一定の方法で、すくい取った数。(2回の平均)

※試験後、1カ月後まで成虫の発生は認められていない。

(考察) ハイカプシン粒剤は、非常に速効性の高い製剤であります。